

"(一)邊A(一)邊B"のAとBについて

著者名(日)	白銀 志栄
雑誌名	神田外語大学紀要
巻	19
ページ	47-64
発行年	2007-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1092/00001215/

“（一）边 A（一）边 B” の A と B について

白銀志栄

“（一）边 A（一）边 B” は「A（し）ながら B（する）」ことを表し、日本人学習者にとっては、さほど難しい文型ではない様に思われる。A と B の表す意味、A と B の語順を決める要因などについては既に何篇かの先行研究があるが、まだ分析が浅いため単純なルールを見出すに至っていない状況である。本稿は調査の結果、A には 1. 急いでやるべき動作・行為（文意が已然を表す場合は、先に発生した動作・行為）、2. 文脈、3. シテがどういう体勢でいるか、4. 付帯状況、を表すものが来ると認め、この形式と「A ながら B」との統語上の相違点を明らかにした。

0. はじめに

複数の動作の同時進行を表す“（一）边 A（一）边 B”については、取り上げない文法書はない。いずれも、「～しながら～する」「一方で～して、同時に一方では～する」という意味を表すという説明と共に、多くて4つほどの例文を日本語訳と一緒に示す、という方法をとっている¹⁾。刘月华等 2001 では、並列複文の項に置き、例文が1つ挙がっているのみである。こういう簡単な説明の仕方をするというのは外国人学習者にとって、この文型が理解しやすいものである、ということなのだろうか。日本人にとっては確かに「～しながら～する」と覚えておけば、大した問題は起こらないようにも思われる。しかし、それなら「A しながら B する」という文型は S O V 型の日本語と S V O 型の中国語で統語上、完全に対応するものなのか。本稿では、この点について探ってみたい。

1. 先行研究について

張岩紅 2003 では「“(一) 辺～(一) 辺～” は並列関係を表現する構文なので、前の“(一) 辺～” と後の“(一) 辺～” は平等の関係であり、前後の“(一) 辺～” に重点の差はない。」とする。安藤 1996 は、中国語母語話者 25 人に「ながら」を用いて表されるような同時進行中の動作がある、と認められる一コマ漫画を見せ、その情景を中国語で表現してもらう、という手法を採って調査したもので、その結果、「“一边～一边～” 文中の前後の位置関係には、叙述者が判断し、動作主にとっての主要な動作を後に置く、という傾向が読み取れる。」とする。村松, 王進生 1999 は、3つの動作の同時進行を述べる表現を考察したもので、その語順については「3つの動作に関連性がなく、どの動作が先に開始されても問題がない場合には述べる順序を入れ替えることが可能である。3つの動作のうちの2つあるいは3つに、動作の開始に関して前後関係が生じる場合、つまり時間的継起の関係が認められる動作がある場合には、先行する動作から並べなければならない。」という結論を得ている。

つまり、安藤 1996 は重要度の高い動作行為が後部に位置する、と見ており、村松, 王進生 1999 は動作行為の発生順が語順を決めるものである、としている。また、三宅 2005 は相対的に時間幅を持つ動作がV 1の位置に立つ、としている。

また、王弘宇 1997、賀菊玲 2001 は“一边A一边B”のA, Bの意味関係を7種類に分類し、A, Bが矛盾関係、並列関係の時は位置の交換が可能であるとしている。また両者共に、語用論的にはBが表現の重心である、としている。

2. コーパスによる調査結果

2.1 使用したコーパスについて

今回の調査では、主として北京出身あるいは北京在住期間の長い作家の作品を対象にコーパスを構築することにした。選んだ作家及び作品は以下の通りである。

“（一）边A（一）边B”のAとBについて

作家 総文字数	作 品	作家 総文字数	作 品
老舍 726303字	四世同堂	刘恒 208885字	黑的血
	骆驼祥子		白涡
	茶馆		贫嘴张大民的幸福生活
毕淑敏 257019字	看家护院	王朔 1300891字	王朔文集纯情卷
	教授的戒指		王朔文集挚情卷
	原始股		王朔文集矫情卷
	最后一只西地兰		王朔文集谐谑卷
	生生不已	陈染 177763字	私人生活
	送你一条红地毯		破开
	预约财富		无处告别
	预约死亡	庸人 114323字	那爷们儿真逗

各作家の生（没）年・性別・本籍及び特記事項

老舍 1899年～1966年 男 北京人 满族

毕淑敏 1952年 女 本籍山東 新疆生まれ

刘恒 1954年 男 北京人

王朔 1958年 男 北京人

陈染 1962年 女 北京人

庸人 1970年 男 北京人

2.2 “(一) 辺 A (一) 辺 B” 等の用例

上記のコーパスに依って“(一) 辺 A (一) 辺 B”の用例数を調査したところ、下に示すような結果が得られた。実際の用例はバリエーションに富み、“(一) 辺 A (一) 辺 B”の他、“一边 A 一边 B 一边 C”(表中の「一边 3」)、“一边”を前か後の1項目にしか使用しないもの(表中の「一边 A」と「一边 B」)、また“辺”を3回、4回使用、或いは1回しか使わないもの(表中の「辺*」)があった。

	一边A一边B	一边 3	一边 A	一边 B	边 A 边 B	边 *
老舍	107	0	1	1	2	0
毕淑敏	15	0	0	0	7	0
刘恒	37	0	0	0	5	0
王朔	108	1	0	1	208	边 3 : 3 边 4 : 1 边 A : 5 边 B : 1
陈染	70	0	0	0	0	0
庸人	1	0	0	0	14	0
合 計	338	1	1	2	236	10

2.3 調査結果について

この調査結果から顕著に見て取れるのは、“一边”と“边”の使用状況が作家によって非常に異なっていることだ。特に王朔の使用状況は独特で、“边”の方が“一边”のほぼ2倍にも達している他、単独では使わないとされている“边”²⁾を単用している例が6例もある。また庸人も“边”を圧倒的に多用していることから、これは彼らの軽快で口語に近い作風が如実に表れている点の一つであると言えるだろう。

“(一) 边 A (一) 边 B” の A と B について

3. 調査結果の報告

“(一) 边 A (一) 边 B” は、話し言葉の中にも小説の地の文にも使われる。話し言葉の中では主にこれからする動作を言うことが多く、小説の地の文では既に起こった、或いは眼前の事態を描写することが多い。以下ではこの2つの文体での出現例を分けて報告する。

3.1 会話の中で使われる時

使用したコーパス中には、会話の中で使われている例は14例あった。

(1) 瑞宣接着说：“我家去把小顺儿的妈找来，叫她一边劝一边问钱太太。等问明白了，我通知你们两位，好不好？”《四》

(家内に大奥さんを慰めながら色々尋ねさせます。)³⁾

(2) 金三爷捏了捏红鼻头，声如洪钟似的：“也许要变天！一边养，一边也得忍！忍着疼，慢慢的就不疼了！”《四》

(養生にゃ我慢が大事でさあ。)

(3) “…一边卖糖，我一边给学生们讲历史上忠义的故事，并且劝学生们到后方去上学。…”《四》

(飴を売りながらも、わしは生徒たちに、歴史上の忠義の物語をして聞かせ、そして、彼らに、中国軍の後方の学校に逃げてゆくように、すすめてやる。)

(4) “你干吗让他自个儿出去？”她不想分辩，“我以为他在大门里边吃边玩呢。…”她又低下了头。《四》

(食べながら遊んでいる)

(5) 秦仲义 来看看，看看你这年轻小伙子会作生意不会！

王利发 唉，一边作一边学吧，指着这个吃饭嘛。谁叫我爸爸死的早，我不干不行啊！《茶》

(やりながら覚えてるんです。)

(6) “我们拿了报告单，就一边走一边看。走到这里，正好看完，我们就一屁

股坐在这儿了，再也走不动了。…”《生》

(歩きながら見て来たんです。)

(7) “…说话的速度如何？是很快很连贯，还是一边思考一边说的？…”《送》

(考えながら言ってた？)

(8) 石静笑着说，“追我人多了，随便就能找个比你好的……边干边说，你怎么停下来了？”“抽棵烟。”《永》

(仕事をしながら話しましょう)

(9) “走吧走吧边走边说，咱们去动物园。…”《玩》

(歩きながら話そう。)

(10) “可以拿过去嘛，”何必笑说，“边吃边谈。”《槽》

(食べながら話しましょう。)

(11) 小雨：“我爸爸就边吃饭边看书。”《刘》

(うちのパパだって本を読みながらご飯を食べるんだよ。)

(12) “…昨天我去女生宿舍串门，一进屋就见我们系最傲气的两个女生一人面前摊着本您的书，一边看一边互相赞叹：‘你说他怎么想的？怎么就能写得这么好呢？’”《你》

(読みながら互いに賛嘆していた。)

(13) 主持人俯首对赵航宇说：“时间比较紧，我看会议休息时间是不是取消？我们一边看录相一边讨论第三个议题关于中赛委和秘书处更名一事？”《千》

(ビデオを見ながら三つ目の議題、中国オリンピック委員会と事務局の名称変更問題を討論することにしては？)

(14) “后来就象从前一样，他每周两次来给我们上课，坐在阳光和煦的教室边弹风琴边唱优美的苏联抒情歌曲，微笑着注视着我们身体，有节奏地晃动嘴张成O型。…”《玩》

(アコーディオンを弾きながら美しいロシア叙情歌を歌っていた)

“(一) 辺A (一) 辺B” のAとBについて

(1) は銭家で家に残っている唯一の男性である長男が亡くなった後、隣人の瑞宣と李四爺、その妻が葬儀に関する段取りを話し合っているが、手配しようにもその家の大奥さんも奥さんも悲嘆の真っ最中にいて、とても彼女らの意向を聞ける状態にない。その状況で瑞宣が自分の妻を呼んで来て、大奥さんをなだめながらこれからのことをどうするか尋ねさせる、と言っている。この場合瑞宣、李四爺とも早く葬儀の手配をしたいので、すぐにも銭家の大奥さんに尋ねたいのだが、そうするためにはまず自分の妻に彼女を慰めさせて彼女に落ち着いてもらわなければならない。“問”するためにまず“劝”することが必要で、“劝”は当然、“問”よりも急いすべき動作である。(2) は金三爺が娘の舅である錢詩人を訪ねて来て、拷問で受けた傷が痛む、という訴えに答えている場面。まず“养”することが第一だが、その一方“忍”もしなければならない、と言っている。(3) は敵に抵抗するために家を出た錢詩人が、外で偶然を装って出会った瑞宣に今までどこでどのように暮らしていたか説明する場面での独白。生活の糧を得るためにまず“卖糖”しなければならないのだが、それと同時にこの機会を捉えて生徒たちに抵抗することを宣伝している。(4) はちょっと目を放した隙に小さい息子の姿が見えなくなったことを自分の父親に話している場面。息子はいつも外に駄菓子を買に行っていた。今日も買って来て、食べながら遊んでいるのだろうと思っていた、というのである。話の流れから“吃”がAに位置するのは全く自然なことである。(5) は茶館の若主人王利発が訪ねて来た大家の秦仲義と話している場面。王は自分には商売を覚えてから始めるというような余裕はない、とにかくやりながら覚えるしか仕方がないのだ、と言っている。やはり“作”することが“学”に優先してやらねばならぬことなのである。(6) は病気の娘を持つ母親が医者者に娘の病気を治してくれるように懇願している場面。小説に設定されたこの状況下では特に急いで“走”する必要はないので、検査結果を受け取ったら、通常はまずそれを見ることの方を優先するだろう。(7) は工場長が訓示した

際の物言いの仕方を尋ねている場面。“思考”することが“説”することの条件になっている。(8)は新居の壁塗りをしながら話していた二人のうちの女性が、手を休めた相手に仕事をしながら話すように促している場面。これは“説”ばかりしていないで、まず“干”してそれと同時に“説”せよ、と言っている。(9)は言い合いをしていた二人に、もう一人がみんなで動物園に行くことを提案し、道々話そうと言っている場面。これも“走”することをまず第一に促している。(10)はパーティーで知り合った人に向こうのソファに座って食べながら話そうと言っている場面。その時の状況下では互いにとって“吃”することの方が急いすべき行為である。(11)は食事中に本を読んでいることを、一緒に食べている友達の母親から注意された子供がこの癖は自分の父親に倣ったものであると抗弁している場面。この意味を言い表す場合日本語では「本を読みながら食べる」と「本を読む」ことを「食べる」行為の付帯状況として言うが、中国語ではその場でまずすべきことは“吃饭”なので、“吃饭”が“看书”より前に来る。(12)は二人の女学生が宿舎で本を読みながらその作家を賞賛していることを言う。“看”した結果“互相赞叹”という結果が生じるので、“看”が前に位置する。(13)はもともと昼の休憩時間に札幌オリンピックのビデオを流し、午後は三番目の議題から討議を再開することになっていたが、時間がなくなったため昼休みを削り、ビデオを見ることと討議を同時に行うように変更することを提案している。ここでは初めの予定通りに“看录像”が前に位置している。(14)は小学校の時の音楽教師の授業風景を叙述する独白。“弹风琴”が“唱优美的苏联抒情歌曲”に先立って行われたので、この語順になっている。

以上見てきたように、会話中に出現する“(一) 边A (一) 边B”のAとBについては、(7) (12)のようにAとBが条件と結果を表すものもあるが、それを含めて大部分はAの動作の方が急いすべき行為である。ただ(6)だけが

“(一) 边 A (一) 边 B” の A と B について

A に B よりは急ぐ度合いが小さい行為が来ている。これについては、3.2.2 で検討する。

3.2 小説の地の文で使われる時

地の文に出現する例を検討すると以下の4つの場合に大別できる。

3.2.1 動作・状況を描写する場合 I

動作・状況を描写する場合には、A、Bの語順に以下の2パターンが認められる。

3.2.1.1

(15) “忘不了！是呀，怎能忘了呢！我找姓冠的去！”他一边说，一边吃力的往前走，象带着脚镣似的那么缓慢。《四》

(言いながら彼は、足かせをつけたようにゆっくりと、苦しげに前へ歩いた。)

(16) 披上长袍，他一边扣着钮扣，一边往外疾走，连小顺儿的“爸，你上哪儿？”也没顾得回答！《四》

(ボタンをかけながら、急いでおもてに歩き出した。)⁴⁾

(17) 看着看着，热泪一串串的落下来。一边流泪，他一边往后退；退到了相当的距离，他又要往前蹿，大概是要把头碰在墙上。《四》

(涙を流しながら、彼は後ずさりして)

以上の3例は、いずれもA、Bが動作・状態が発生した順になっている。三宅2005:132では「相対的に時間幅を持つ動作が「地」となり“V1”(本稿で言うところのA——筆者注)の位置に立ち、逆に時間幅の短い動作が「図」となり“V2”(本稿でのB——同)の位置に立つ」としているが、この3例では時間幅ではなく、動作・状態が始まった時間が早いことがAを決める条件になっている。

3. 2. 1. 2

(18) 他自管小心他的，东家并不因此就不辞他；不定是三两个月，还是十天八天，吹了！他得另去找事。自然，他得一边儿找事，还得一边儿拉散座；骑马找马，他不能闲起来。《骆》

(新しい口を探しながら、辻待ちもしなければならなかった。)

(19) 他给薛教导员写了封信，发出后在邮局附近的书摊上买了一本《古墓尸魂》和一本《美女蛇》。他躺在床上一边看书一边吃香蕉。他在节日期间吃了八斤香蕉，吃得肠子很滑，老想上厕所。《黑》

(彼はベッドに寝転んで、本を読みながらバナナを食べた。)

(18) は祥子が陥った境遇を説明する文であり、この場合は二つの動作の時間的前後関係がA, Bの語順を決定するものとはならない。Aに“找事”、Bに“拉散座”が来ているのは、お抱えの仕事が駄目になった状況下で、前文に「彼はまた雇い主を探さねばならなくなった」という内容があるためであり、決して“找事”が“拉散座”に優先してすべき急ぎの用だからというわけではない。後文に“骑马找马”という語で表現されているように、“找事”は重要さを論ずれば当然こちらの方が重要だが、彼の境遇では日々の生活で優先せねばならぬことは“拉散座”の方なのだ。同様に(19)で“看书”がAに位置しているのは、前文に本を買って来たことが書かれているためである。そしてBに“吃香蕉”とあるため、この後文がバナナを4キロ食べたことに関する内容になっている。このパターンは文脈がA, Bの語順を決定する要因になるもので、“(一) 边A (一) 边B”の直前の文の内容がAに出現する動作・行為を選択し、またBに出現した動作・行為が後文の内容を決めていく。

3. 2. 2 動作・状況を描写する場合Ⅱ

(20) “…咱们的书大概得烧！今天白巡长嘱咐李四爷告诉咱们！”“进去说，老三！”钱先生一边关门，一边说。然后，他赶到前面来：“我领路吧，院里

“（一）边A（一）边B”のAとBについて

太黒！”《四》

（錢老人は門をしめながら言った。）

（21）赵航宇满面春风地提着包走进会议室，理所当然地走到会议桌顶端的位子上，一边从包里往外掏茶杯、茶叶筒和钢笔记事本，一边笑呵呵地同在座的人打招呼。《千》

（カバンからコップ、茶筒やペン、ノートを取り出しながら、席に着いている人たちににこにこ挨拶した。）

（22）他站在离锅炉房八丈远的地方跟人说话，轰隆一声，锅炉黑乎乎地蹿出了房顶，一边飞一边洒开水，像一架灭火的直升机。《贫》

（飛びながらお湯を撒き散らした）

（23）回到酒店夜很深了，我忧郁地放了池热水洗澡，一边浸泡一边吸烟一边想着身不由己做人的尴尬和不做人的不可能。《橡》

（風呂につかりながらタバコを吸い、望んだわけではないのに人に生まれてしまったことのやるせなさ、この先も生きて行かざるを得ないことを考えた。）

（20）のAは四合院の家の、外に面している門を閉める動作だが、（20）の状況を詳しく考えてみると、錢老人は瑞全から来意を聞き、それに「中で話そう。」と返答してから門を閉める動作を始めてそれを完了させ、その後老人は瑞全の先に出て、「庭が暗いから私が先に立って案内しよう。」と言うのである。Aの“关门”はBの“说”よりも目に見える大きい動作である。（21）もAはBより体の動きの大きい動作である。（22）のA“飞”はボイラー自身がどういう体勢でいるかを表す動作で、それを先に言ってから、B“洒开水”を言う。これは日本語で表現したらA、Bが逆になるだろう。（23）は“一边”が3つ使われている例だが、Aはその人物が身体的にどういう状態にいるか、その人物の体勢はどうなっているか、を一番大きな視野で捉えたものである。Bはその体勢でしている動作を表し、Cは思考活動なので目に見える動作にはならな

い。中国語はどのように何かを描写する時、そのものがどういう体勢にいるかをまず遠くから全体としてつかもうとする。

安藤 1996:215 では、人物が風呂につかりながら歌を歌っている図（イ）と、風呂から出て鼻歌を歌いながらズボンをはいている図（ロ）のどちらも中国語母語話者はほとんどがBに“唱歌”または“哼歌”を置いた（（イ）は“一边～一边～”文型を用いた10人中9人、（ロ）は同6人中5人）とのことであるが、これは中国語がまず全体を見て表現しようとする言語であることを証明するものであろう。

また、卢福波 1996 にも練習問題として

(24) 他____修着自行车, ____哼着小曲。

の下線部に“一边”を入れさせる問題がある。これもA“修着自行车”は人物の体勢を全体として捉えたものである。

3.1で例示した

(6) 我们拿了报告单, 就一边走一边看。走到这里, 正好看完, 我们就一屁股坐在这儿了, 再也走不动了。

も、“走”がAに来ているのは、まさにこのケースである。今回得られた“(一边A(一边B)文を対象にAまたはBに“走”が来ているケースを調べたところ、以下のような結果になった。

	“走”が A	“走”が B
老舍	25	1
毕淑敏	4	0
刘恒	7	0
王朔	50	3
陈染	3	0
庸人	2	0

“（一）边A（一）边B”のAとBについて

ここから、“走”は圧倒的にAで用いられることが見て取れる。これも中国語が外界を認識する時に、対象物がまずどういう体勢であるかを掴もうとする言語であることを証明している。

3. 2. 3 動作・状況を描写する場合Ⅲ

(25) 虎妞爱吃零食，每逢弄点瓜子儿之类的东西，总把小福子喊过来，一边说笑，一边吃着。《骆》

(賑やかにしゃべくりながらつまむのだった)

(26) 小青姐今天过生日，买了酒，跟她男朋友边聊边喝。我也坐过去蹭酒喝，傻乎乎地听他们说笑话。《浮》

(しゃべりながら飲んでいた)

(27) 卖水果的小贩热情地叫住我们兜售，我们买了一个沙瓤大西瓜，几斤殷紫的李子。回到住处，切了西瓜，边看电视边吃。《一》

(テレビを見ながら食べた)

(28) 这里没有油饰得花花绿绿的玻璃柜，没有颜色刺目的罐头与纸盒，没有一边开着玩笑一边作生意的店伙，没有五光十色的“大减价”与“二周年纪念”的纸条子。《四》

(ふざけながら商売をする)

(29) “你吃点什么呢？”韵梅一边给老人与婆母倒茶，一边问丈夫。她不敢只单纯的招呼丈夫，而忽略了老人们。《四》

(老人と姑とに茶をつぎながら夫にたずねた)

以上の5例は、いずれもAがBの修飾成分となって、Bの付帯状況を表している。つまり話し手或いは書き手は、Bが主要な内容を表すことを認識した上でA、Bを選択して表現している。

3. 2. 4 矛盾した二つの内容を述べる場合

(30) 日本人永远是一边杀人，一边给死鬼唸经的。《四》

(一方では人を殺し、一方では死人に読経する)

(31) 小羊圈的人觉着，一边儿杀人，一边儿交朋友，简直是莫名其妙，叫人恶心。《四》

(人を殺しておきながら友達になる)

(32) 她也红着眼皮，一边哭着女儿，一边穿上新蓝大衫。《骆》

(娘を思って目を泣きはらしながらも、新調の青い上着を着こんでいた)

(33) 菜的种类很多，各处排着长短不一的队，卖红烧肉的队最长。工人们一边骂着菜太贵了，一边吃很好的菜。《看》

(おかずが高すぎると文句をいいながら、上等なおかずを食べていた)

これは王1997で“矛盾关系”、賀2001で“对立关系”とされているものである。一人の人物、或いは一つの人格を持った存在と認められるものの矛盾した二つの面を述べ立てている。王1997、賀2001共にA、Bの語順は置き換え可能としている。が、(30)(31)はA、Bに時間の前後があるので置き換えは不可能である。また(32)は娘を売り払ったために服を新調できたという因果関係がある以上、このA、Bともこのままの位置であるべきであるし、またそうであればこそ、この母親の人柄が風刺を込めて描写されるのである。(33)もA「おかずが高すぎると文句を言う」なら、安いものを買って食べることもできるはずなのに、それでもB「上等なおかずを食べていた」から、風刺味が出るのである。このA、Bの位置を逆にしたら工員たちを揶揄するユーモラスなニュアンスは全く出ない上、却ってこの工員たちの下品さを容赦なく暴くような筆致になってしまい、表現効果が正反対になってしまう。総じて、この形式が矛盾した内容を表しているように感じられるのは、そもそもAとBが矛盾した内容であるからであり、決して“(一) 边A (一) 边B”という文法形式自体が矛盾

“(一) 边A (一) 边B” のAとBについて

した内容を表すものなのではない。この形式は単純に発生した順にAとBを並べているだけに過ぎない。

3.3 結果のまとめ

以上を整理すると、“(一) 边A (一) 边B” のAとBの語順を決めるのは次の4つであると言えるだろう。

1. 二つの動作・行為・状況の発生順（未然・已然の動作・行為共に含む。
またA, Bが矛盾した内容を表すものもこれに含める。）
2. 文脈（前文の内容がAを決める）
3. 全身の体勢を表す動作がA
4. 付帯状況がA

4. 「AながらB」と“(一) 边A (一) 边B”

「AながらB」のAは付帯状況を表し、Aが従、Bが主の関係になる。⁵⁾ 一方、“(一) 边A (一) 边B” は、語用面においてはBに重点があるため、この二つの文法形式はある程度までほとんどAとBをこのままの語順にしておいたまま互いに置き換えが可能になる。上の例で見た所では

(6) 我们拿了报告单, 就一边走一边看。

(19) 他躺在床上一边看书一边吃香蕉。

(22) …, 锅炉…, 一边飞一边洒开水, 像一架灭火的直升机。

の3例が、そのままの語順で日本語にしようすると違和感が生じる。が、その他の例は、自動的に置き換えても全く自然な日本語になる。この原因を考えると、(6) の「歩く」と「検査結果を見る」、(19) の「本を読む」と「バナナを食べる」、(22) の「飛ぶ」と「お湯を撒き散らす」を「ながら」で結びつける時、可能な2種類の語順に対して心理的に許容しやすい選択性があるからであるようだ。「歩きながら検査結果を見る」という形式より「検査結果を

見ながら歩く」という形式の方が心理的に許容しやすいし、「本を読みながらバナナを食べる」と言うバナナを食べることが必要以上に強調されているような感じがする。或いはバナナを食べることが本を読むより大事なことなのか？という感じがしてしまう。(22)を「飛びながらお湯を撒き散らす」と訳すと、この3例の中では最も顕著に不自然な感じがする。「歩く」「飛ぶ」の例から、日本語ではBに身体全体の動きを大きく捉える動作が来る、と言えそうだ。またバナナの例からは、日本語では同時進行を表す二つの動作・行為自体にそもそも主・従の別があることが伺える。

5. 結論

S O V型の日本語とS V O型の中国語とで「AながらB」と“(一) 辺A (一) 辺B”とは幸運にも共にBが表現上の重点であるため、かなりの部分がそのまま置き換え可能である。が、事物を認識する際に中国語はそのものがどういう体勢でいるかということをまず初めに捉えようとするので、その動作が述語の中の初めの位置に出る。(この文型のAに出る。)が、日本語は二つの動作の同時進行を表す際に、「AながらB」を用いて、Aを従の動作、Bを主の動作として表すため、そのものがどういう体勢でいるかという大きい動作はBに出る。このため、「AながらB」と“(一) 辺A (一) 辺B”のA, Bを逆に位置させなければならなくなる。また、日本語では任意の二つの動作に、外部条件とは関わりなく、そもそも主、従の別があるようである。これについては今後の研究対象としたい。

“（一）边A（一）边B”のAとBについて

<注>

- 1) 荒川 2003：215 頁。杉村 1994：106 頁。相原茂等 1996：335、341 頁。守屋 1995：248 頁。竹島 1990：106 頁。刘月华等 2001：866 頁。卢福波 1996：256、264-274 頁。
- 2) 武柏索等合編 1988：305 頁。““边…边…”只能连用，不能单用” 竹島 1990:106 頁。「〈一边儿〉はあとに長い句がくるともあり、また二つの〈一边儿〉のうち一方だけをいうこともできるが、〈边〉はそれらができない。」
- 3) 日本語訳は『四世同堂』は「現代中国文学全集 4～6 老舍篇」河出書房 1954 年、鈴木澤郎等訳に、『駱駝祥子』は「駱駝祥子」岩波書店 1987 年、立間祥介訳によった。それ以外は全て筆者が訳したもの。
- 4) 「現代中国文学全集老舍篇」では、「…、急いでおもてに出て歩き出した。」となっているが、筆者の判断で「出て」を削除した。
- 5) 富田 1995：32 頁。富田 1992：126 頁。

<引用例文の出典とその略称>

《四》：《四世同堂》 《茶》：《茶馆》 《駱》：《駱駝祥子》
《生》：《生生不已》 《看》：《看家护院》 《送》：《送你一条红地毯》
《黑》：《黑的血》 《贫》：《贫嘴张大民的幸福生活》
《永》：《永失我爱》《浮》：《浮出海面》（以上二編は《王朔文集纯情卷》所収）
《玩》：《玩儿的就是心跳》《橡》：《橡皮人》（以上二編は《王朔文集挚情卷》所収）
《槽》：《槽然无知》《刘》：《刘慧芳》（以上二編は《王朔文集矫情卷》所収）
《你》：《你不是一个俗人》 《千》：《千万别把我当人》 《一》：《一点正经没有》
（以上三編は《王朔文集谐谑卷》所収）

＜参考文献＞

- 相原茂等 1996. 『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』, 同学社。
- 荒川清秀 2003. 『一步すすんだ中国語文法』, 大修館書店。
- 杉村博文 1994. 『中国語文法教室』, 大修館書店。
- 竹島金吾 1990. 『練習中心トレーニング中国語』, 白水社。
- 守屋宏則 1995. 『やさしくくわしい中国語文法の基礎』, 東方書店。
- 安藤好恵 1996. 「中国語母語話者による同時進行のとらえ方と表現型について」,
『お茶の水女子大学中国文学会報』第 15 号: 1-11 頁。
- 三宅登之 2005. 「“一边 V 1, 一边 V 2” と “V 1 着 V 2” の関係について」,
『大東文化大学語学教育研究所創立 20 周年記念現代中国語文法研究論集』: 121-143 頁。
- 村松由起子, 王進生 1999. 「3つの動作の同時進行を述べる表現について——
日本語の「～ながら～して」と中国語の「一边～一边～一边～」——」,
『豊橋技術科学大学雲雀野』21:109-117 頁。
- 張岩紅 2003. 「“(一)边～(一)边～」と“～着～”について—その 1—」「“(一)
边～(一)边～」と“～着～”について—その 2—」, 『中国語の環総集編Ⅱ』, 日本中国語検定協会: 84-90 頁。
- 刘月华等 2001. 『实用现代汉语语法』, 商务印书馆。
- 卢福波 1996. 『对外汉语教学实用语法』, 北京语言文化大学出版社。
- 武柏索等合編 1988. 『现代汉语常用格式例释』, 商务印书馆。
- 王弘宇 1997. 「“一边 A, 一边 B” の内部语义关系分析」, 『中国语文』1997 年
第 2 期: 122-125 頁。
- 贺菊玲 2001. 「论“一边 A, 一边 B” 的句法、语义和语用功能」, 『陕西师范大学
学报』第 30 卷专輯: 265-268 頁。
- 富田隆行 1992. 『文法の基礎知識とその教え方』, 凡人社。
- 富田隆行 1995. 『基礎表現 50 とその教え方』, 凡人社。